



6月定例会の報告

6月8日から23日まで16日間の日程で6月定例会が行われました。

知事選の兼ね合いで令和2年度の当初予算はいわゆる骨格予算で編成され、本来新規性のあ政策的な経費は肉付けした6月の補正予算で対応するはずでした。ところが新型コロナウイルス感染状況を考えると、コロナ対応が今の熊本県政において最優先で取り組むべきとの結論に至りました。

そこで6月定例会では

- ① 国の緊急経済対策を最大限活用し、新型コロナウイルス感染症対策のために67億円
- ② 着実に実施すべき県民の安全・安心な生活を確保するために116億円
- ③ コロナの影響を受けている県内の中小企業向け金融支援制度の融資枠拡充のために312億円

以上を審議し可決成立しました。そこで①と②の主な内容を簡単に説明します。

① 新型コロナウイルス感染症への対応

・PCR検査体制の強化 (図1参照)

第2波に備えて夏頃を目処に保健所を介さずに検体の採取から検査まで迅速に対応できる検査体制を熊本市、県北、県南、天草の計4カ所設置します(熊本市は南熊本の食肉センター跡地に建築中で近々開設予定)。

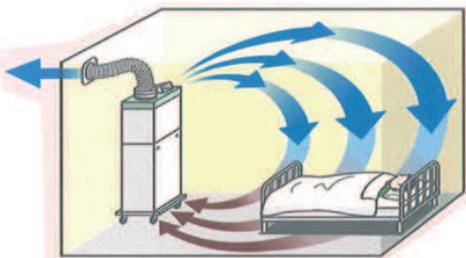
・介護施設等における感染症の拡大防止(図2参照)

感染リスクを抑制するために簡易陰圧装置・換気設備を整備する介護施設へ補助します(照会后、希望のあった30施設へ)。

・地域観光再生強化事業

インバウンドの減少や緊急事態宣言の発出等による国内客の減少が県下の観光業に甚大な影響が出ています。そこで宿泊施設が実施する感染防止対策の強化や地元産食材を活用したメニュー開発等の取り組みを支援します。

図2. 簡易陰圧装置設置のイメージ



※感染リスク低減のためには、ウイルス漏洩防止のため、気圧を低くした陰圧室の設置が有効

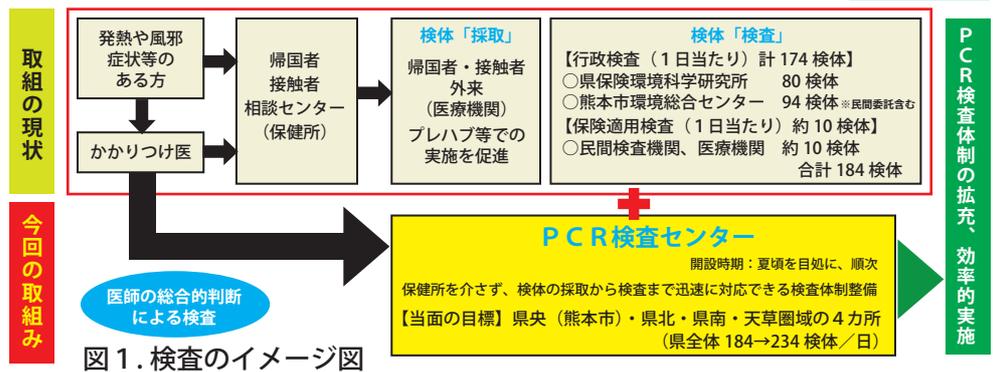


図1. 検査のイメージ図

② 県民の安全・安心な生活の確保

・治水機能向上のための緊急浚渫

大雨や台風による洪水被害を未然に防止するため河川の治水機能向上のために河道内に堆積した土砂を撤去し河川の流量を確保します。

・空港アクセスの調査・検討

空港アクセス鉄道に係るルート、事業費、需要予測等の詳細な調査結果は、本来3月末に公表予定でした。しかしコロナ感染拡大以降、インバウンドを中心とした航空旅客者数が大幅に減少するなど、昨年度の調査時と状況が大きく異なっています。そこで事業化については一旦立ち止まり継続して調査することになりました。また新たに学識経験者、経済界のメンバーで検討委員会(案・有識者、交通事業者、空港関係者等計10名程度)を設置して更に議論を深めます。この空港アクセスに関しては改めて報告致します。

坪井川 城山校区 伐採作業

過日、城山大塘町で坪井川の美化推進委員で清掃作業に取り組まれているボランティアの皆さんから相談を受けました。内容は「私たちの町内は坪井川沿いに形成された集落で、坪井川は町のシンボルであり、農業用水の貴重な源でもあるかけがえのない存在です。それが最近では河川内の樹木が大きく成長し流れを阻害し、同時に道路の安全な通行にも危険が生じているので対応してもらいたい」とのことでした。皆さんと立ち会いの上で現地調査を行いました。道路は近隣の高校生の通学路で年に数回伐採作業をしているのですが、もはや樹木が成長しすぎで手に生えないので根本的な除去作業をお願いしたいと改めて訴えられました。後日関係機関も現地調査をして予算を確保して5月に作業が完了したのでした。



雁回公園トイレ改修 富合町

昨年9月、富合町の雁回公園で地域の方々を対象にグラウンドゴルフ大会を開催しました。その際、役員や参加者から公園内のトイレの使い勝手の悪さの窮状を多々耳にしました。早速その場から関係機関に事情を説明しました。調査した結果、場所が山頂にあることから水洗式への転換は難しいこと、そこで最低限の改良措置として管理人室横のトイレの改修に取り組むことが決まりました。内容は男子洋式化、女子一部洋式化、さらに立ったり座ったりする際に握る手摺りを設置することになりました。コロナ対応等や資材不足の影響もあり着工も遅れましたが、6月に終了しました。これで公園の利用者も心配なくトイレを使用することができるよう。

